

にゃんがらめくり

プレイ人数：2～4人 対象年齢：6才以上 プレイ時間：10分 作：与儀新一
ネコをいっぱい呼びましょう。欲張って手札を増やせば、減点のピンチ。簡単ルールでドキドキの展開です。【難易度★★】

1 ゲームの準備

- 各プレイヤーはネコリストカード1枚を、「3人4人」と書かれた面を表にして自分の前に置き（2人プレイのときも）、この面を見ながら遊べます。余ったネコリストカードは使いません。
- すべてのカタカナカードをよく切ります。
- 3人プレイのときは1枚ずつ、4人プレイのときは2枚ずつ、各プレイヤーはカタカナカードを受け取って手札にします（2人プレイのときは受け取りません）。
- 残ったカード（2人プレイのときは全カード）を裏向きの山札にして、テーブル中央に置きます。その横を全員共通の捨札置場とします。ゲーム中、捨札置場の下のカードは見られません。山札の枚数はいつでも確認できます。
- 2人か4人プレイのときは、山札の一番上のカード1枚を表向きに捨札置場に置き、最初の捨札とします（3人プレイのときは行いません）。
- すべてのネコチップを、適当な面を表にして（クビワ付きかなしかをバラバラにして）、山札のそばに置きます。これをストックと呼びます（基本ルールと違い、2人プレイでもサビのチップを使います）。

プレイ人数ごとの手札と捨札の枚数	2人	3人	4人
手札	0枚	1枚	2枚
捨札	1枚	0枚	1枚



例1：3人プレイ
(プレイヤーA・B・C)

2 遊び方

- 一番最近ネコをなでたプレイヤーから、時計回りに手番を行います。
- 手番が来たら、山札の一番上からカード2枚を取って手札に加え、その後、次の①か②のどちらかを行います。

① 手札から名前を1つ作って出す

- 手札を使って、ネコリストカードにある名前（ネコの名前かクビワ）を1つ作り、自分の前に表向きに並べます。自分や他のプレイヤーがすでに作っている名前も作れます。
- ネコの名前を作ったときは、その名前のネコチップを、ストックか他のプレイヤーの前から取ります（例2）。ただし、他のプレイヤーの前にある、クビワ付きのネコチップは取れません（例3）。取ったチップは表向きの面を変えずに、今回並べたカードの隣に置きます。

- すでに自分の前にあるネコチップの名前を作ったときは、そのチップを動かしません。
- クビワを作ったとき、ネコチップは取れません。



例2：クロを作り、チップを取る



例3：サバを作り、チップは取らない

② 手札を1枚捨てる

- 手札のカード1枚を、表向きに捨札置場に置きます。すでに捨札があればその上に重ね、下のカードが見えないようにします。
- ただし、カードを捨てる直前に、2人プレイのときは9枚以上、3人プレイのときは8枚以上、4人プレイのときは7枚以上、手札があるときは、捨札を自分の前に裏向きに置きます（例4）。すでに捨札があれば、その横に並べます。



例4（3人プレイ）：カードを2枚引き、手札が8枚になったあと、カードを1枚捨てた

3 ゲームの終了

- 山札がなくなったら、その手番の終了後、ゲームが終了します（手番の回数は全員同じになります）。
- 自分の前のカードとネコチップから、次の点数を獲得します。

カード	点数
クビワ	7点
4文字ネコ（グレー・ハチワレ）	6点
3文字ネコ（サバ・キジ・サビ）	3点
ミケ	2点
2文字ネコ（ミケ以外）	1点
捨札	-2点

ネコチップ	点数
クビワ付き	2点
クビワなし	1点

*「い」は1文字として数えます



- 合計点が一番高いプレイヤーの勝ちです。
- 同点なら自分の前のネコチップ枚数が多い方の勝ち、それも同じなら自分の前のカード枚数（捨札以外）が多い方の勝ちです。それも同じなら引き分けで、勝者はいません。
- 最初に手番を行うプレイヤーを、時計回りに交代して、新しいゲームを始めます。最初に2勝したプレイヤーの勝ちです。

警告！ 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
製作 77spiele お問合せ <https://77spiele.jp> ©2023 Shinichi Yogi, 77spiele.

▼裏面は「にゃんがらじゃん」ルール